

基礎交付金事業実績書

団体名：中津山コミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,337,270 円

2 事業内容

(1) 事業名 子ども防災体験事業

事業費	47,258 円
事業内容	◆子ども防災体験事業「トイドローン教室」の開催 ① 会場 中津山公民館 多目的ホール ② 日時 令和7年6月28日（土） 9:00～11:45 ③ 内容 トイドローンを使った防災体験学習。個別操作体験、ペアリング・バッテリー交換の確認、輪くぐりゲーム・着陸ゲームなどの応用操作を実施。保護者も体験に参加。 ④ 参加者 計14人（参加者10人、講師3人、事務局1人）
事業成果	・子どもたちがドローン操作を通じて、災害時の情報収集や上空確認の重要性を体験的に理解できた。 ・バッテリー交換やペアリングなど、機材を安全に扱うための基本操作を体験し、災害時の機器管理の大切さを実感できた。 ・保護者も体験に参加したことで、家庭内で防災について話題にしやすい、防災意識の共有が進んだ。

(2) 事業名 中津山歴史伝承事業

事業費	17,755 円
事業内容	◆中津山歴史伝承事業 歴史講座「ふる里の地名いろいろ」の開催 ① 会場 中津山公民館 多目的ホール ② 日時 令和7年7月15日（火） 10:00～11:30 ③ 内容 地名研究の専門家・太宰幸子氏による「災害に関わる地名と歴史」をテーマとした講演。地域に残る地名の由来や、古来の災害との関係を具体例を交えて学び、参加者が郷土の歴史を再確認する機会となった。 ④ 参加者 計31人（聴講者28人、講師1人、事務局2人）
事業成果	・地名に隠された歴史や災害との関係を学ぶことで、地域の成り立ちや防災に関する理解が深まった。 ・専門的な内容を平易な言葉で学べたことで、幅広い年代が参加しやすい防災・歴史学習の場となった。

	・地域の歴史を知ることが、郷土愛の醸成と次世代への伝承につながる基盤づくりとなった。
--	---

(3) 事業名 地域づくり研修会事業

事業費	43,002 円
事業内容	◆地域づくり研修会事業「書道 書き納め会」の開催 ① 会場 中津山公民館 和室 ② 日時 令和7年12月24日（水） 13:30～15:30 ③ 内容 書道の書き納め体験を中心に、参加者が持参した手本をもとに作品制作を行った。希望者には書道道具を貸し出し、スタッフがサポート。作品を使った2026年オリジナルカレンダー作成や、クリスマス抽選会も実施し、家族で楽しめる交流の場となった。 ④ 参加者 計24人（参加者20人、講師2人、事務局2人）
事業成果	・書道を通じて心を静め、一年を穏やかに締めくくる時間を提供できた。 ・子どもから大人まで幅広い世代が参加し、家族や地域の交流が深まった。 ・作品がカレンダーとして形に残り自己肯定感や地域への愛着の向上につながった。 ・抽選会などのイベント要素により、楽しさと参加意欲が高まった。

(4) 事業名 世代間交流事業

事業費	151,199 円
事業内容	◆世代間交流事業「軽スポーツ&レクリエーション大会」の開催 ① 会場 中津山公民館 多目的ホール ② 日時 令和8年2月11日（水） 9:30～11:30 ③ 内容 小学生から高齢者まで楽しめる軽スポーツ・レクリエーションを実施。ストラックアウト、輪投げ、ビンゴボードゲーム、新聞レース、けん玉、地域クイズ、スパイダーキャッチなど多様な競技を行い、抽選会・成績発表・参加賞配布も実施。 ④ 参加者 計50名（小学生・大人・役員・職員3名）
事業成果	・子どもから高齢者までが一緒に競技を楽しみ、世代間交流が大きく促進された。 ・特に新聞レースなどは大盛り上がりで、自然な応援や笑顔が生まれる交流の場となった。 ・体力差に左右されない競技構成により、誰でも参加しやすい大会として好評だった。 ・クイズでは世代を超えて相談し合う姿が見られ、地域理解の促進にもつながった。

(5) 事業名 居場所作り事業

事業費	35,258 円
事業内容	◆居場所作り事業「あづまっぺ！」の開催 ① 会場 中津山公民館 和室 ② 日時 令和7年5月15日(木)、7月7日(月)、9月9日(火)、11月11日(火)、令和8年2月2日(月)、13:30～15:30 ③ 内容 お茶を飲みながらの雑談を中心に、紙芝居・楽器演奏・睡眠講座・ハンドマッサージ・ペットボトルツリー作り・絵本朗読など、回ごとに異なる交流活動を実施。 ④ 参加者 計96人(参加者95人、事務局1人) ◆居場所作り事業「夏休みだ！子どもあづまっぺ！」の開催 ① 会場 中津山公民館 視聴覚室 ② 日時 令和7年7月22日～8月21日の指定11日間 9:00～16:00 ③ 内容 夏休み期間中、公民館の会議室を自習室として開放。自習や雑談など、子どもたちが安心して過ごせる居場所として活用された。 ④ 参加者 期間中利用者 計24人
事業成果	・回を重ねるごとに認知度が高まり、参加者が増加した。 ・初対面同士が顔見知りになり、地域のつながりが強化された。 ・「話し相手がいないから嬉しい」という声もあり、孤立感の軽減に寄与した。 ・夏休み中の子どもたちに、安全で安心できる居場所を提供することができた。 ・自習や交流の場として活用され、家庭以外の居場所の選択肢が広がった。

(6) 事業名 交通安全・防犯啓発の推進事業

事業費	47,111 円
事業内容	◆交通安全・防犯啓発の推進事業「交通安全・防犯啓発教室」の開催 ① 会場 中津山公民館 多目的ホール ② 日時 令和7年6月18日(水) 10:00～12:00 ③ 内容 高齢者を対象に、俊敏性・反射神経の測定機材を使った体験と、警察による交通安全・防犯講話を実施。歩行者シミュレーターや飲酒ゴーグルなどを用いて、危険予測力や判断力の重要性を体験的に学んだ。 ④ 参加者 計35人(参加者24人、宮城県警交通企画課2人、佐沼警察署交通課2人、中津山駐在所1人、米山駐在所1人、交通安全協会1人、事務局4人)
事業成果	・実技体験と講話を組み合わせることで、高齢者が楽しみながら交通安全を学べる機会となった。 ・シミュレーター体験により、危険予測・判断力の重要性を実感できた。

	・警察との連携により、地域全体の交通安全意識の向上につながった。
--	--

(7) 事業名 地域防災活動の推進事業

事業費	54,900 円
事業内容	◆地域防災活動の推進事業「くらしを守る水の防災講座」の開催 ① 会場 中津山公民館 視聴覚室 ② 日時 令和8年3月3日（火） 10:00～11:30 ③ 内容 登米市上下水道部および専門業者による、水道インフラの防災・減災に関する講義を実施。能登半島地震での災害派遣報告、水道管耐震化の現状、漏水調査の実演、家庭でできる漏水チェック方法、給水袋の使い方など、生活に直結する防災知識を学んだ。 ④ 参加者 期間中利用者 計21人（参加者13人、講師6人、事務局2人）
事業成果	・能登半島地震の実例を通じて、災害時の断水リスクと給水活動の重要性を実感。 ・登米市の耐震化率 76.8%など、地域の水道インフラの強みを知り、日頃の備えへの理解が深まった。 ・音聴棒や探知器を使った体験により、漏水発見の仕組みを身近に感じられた。 ・家庭でできる漏水チェック方法や給水袋の使い方など、生活に直結する実践的な防災知識を習得することができた。

(8) 事業名 健康寿命を延ばすためのシニア向け地域づくり事業

事業費	67,132 円
事業内容	◆健康寿命を延ばすためのシニア向け地域づくり事業「パークゴルフ大会」の開催 ① 会場 豊里水辺の公園パークゴルフ場 ② 日時 令和7年7月4日（金） 8:45～12:20 ③ 内容 36ホール（はくちょう・おおはし・なのはな・さくら）を使用し、12チームに分かれてプレー。ローカルルール（7打打ち止め8打記入）を適用し、男女別3位まで表彰、ホールインワン賞も設定。 ④ 参加者 計42人（参加者39人、事務局3人）
事業成果	・老若男女が参加し、地域の健康づくりと交流促進に寄与した。 ・参加者同士のコミュニケーションが活発で、コミュニティの一体感が高まった。

(9) 事業名 事業名 空き家、空地の把握と対応

事業費	49,968 円
事業内容	◆空き家、空地の把握と対応 ① 場所 中津山地区内（全戸配布による周知活動のため特定会場での実施なし） ② 日時 令和7年10月（チラシ全戸配布期間） ③ 内容 今年度は、空き家・空地対策に向けた住民周知を図るため、事業内容をまとめたチラシを作成し、令和7年10月に地区内の全戸へ配布した。また、オンラインアンケートを実施して住民の意向把握を開始し、寄せられた回答をもとに、今後の話し合いに向けた基礎資料の整備として住民からの意見収集を行った。 ④ 参加者 計3名（回答者3名、事務局）
事業成果	・全戸配布により、空き家・空地問題への住民の関心喚起が図られた。 ・オンラインアンケートで3件の回答があり、住民の課題認識や意向の一部を把握できた。 ・今後の住民説明会や話し合いに向けた基礎資料として活用できる情報が蓄積された。

(10) 事業名 交通弱者への対策検討

事業費	6,171 円
事業内容	◆交通弱者への対策検討（今年度実施分まとめ） ① 場所：中津山地区全戸（チラシ配布による情報提供） ② 時期：令和8年3月（全戸配布） ③ 内容：今年度は、交通弱者対策の基礎資料整備の一環として、中津山地区の現状（公共交通の少なさ・今後予想される移動手段の減少）や、それに伴う生活上のデメリット、さらに全国の先進事例を紹介したチラシを作成し、地域住民へ全戸配布した。また、住民の意向把握として「交通手段で困っていること」を尋ねるオンラインアンケートを実施し、今後の検討に向けた基礎データの収集を行った。 ④ 対象：中津山地区住民（全戸）
事業成果	・全戸配布により、空き家・空地問題への住民の関心喚起が図られた。 ・今後の住民説明会や話し合いに向けた基礎資料として活用できる情報が蓄積された。

(11) 事業名 干し柿作り体験事業

事業費	0 円
事業内容	◆干し柿作り体験事業 ① 場所 中津山公民館 ② 時期 11 月～翌年 1 月頃（干し柿作りに適した乾燥した時期） ※今年度は熊被害防止のため実施を中止 ③ 内容 地域で余っている柿を活用し、参加者が皮むきや紐付け、吊るしといった干し柿作りの工程を体験しながら、伝統的な保存食づくりの技術を学び、住民同士の交流を深めることが目的。また、空き家に実る柿を再利用することで獣害、特に熊の被害を防ぐ効果も期待されていたが、今年度は熊の出没が相次ぎ、柿の収穫作業に危険が伴うと判断されたため、安全確保を最優先し中止となった。 ④ 参加者 中津山地区住民（10～15 名程度を想定）
事業成果	・今年度は、全国各地で熊の出没が相次いだことによる安全確保の観点から、事業の実施を見送った。 ・干し柿作りに必要な柿の提供や収穫作業において、住民が屋外で活動する際の危険性が高まったため、中止判断が適切であると判断された。 ・中止により、参加者の安全を最優先に守ることができ、地域行事におけるリスク管理の重要性を再確認する機会となった。 ・来年度以降は、熊被害の状況や収穫環境を見極めながら、安全対策を講じたうえでの実施可否を検討する必要がある。

(12) 事業名 リサイクル活動、省エネルギー活動の推進事業

事業費	19,021 円
事業内容	◆リサイクル活動、省エネルギー活動の推進事業「ゴミ捨て・リサイクルハンドブック中津山版」を発行 ① 対象：中津山地区住民 ② 期間：令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月分 ③ 内容：「ゴミ捨て・リサイクルハンドブック中津山版」を発行・配布。
事業成果	・ゴミ収集日が明確になり、住民が迷わず正しい日にゴミを出せるようになった。 ・ゴミ捨てのルールやリサイクル方法への理解が深まり、適切な分別行動が促進された。 ・分別・リサイクルの重要性を再認識し、地域全体の環境意識が向上した。

(13) 事業名 環境美化事業『花いっぱい運動』

事業費	150,206 円
事業内容	◆環境美化事業『花いっぱい運動』の実施 ① 場所 中津山内各行政区の花壇・緑地帯、米山幼稚園内花壇、中津山小学校内花壇、飛鳥未来きずな高校 ② 日時 令和7年5月～6月 ③ 内容 行政区・幼稚園・小学校・高校へ花苗を提供し、住民・園児・児童・生徒が協力して植栽を実施。行政区での花壇整備、幼稚園・小学校での植栽指導、高校による育苗活動など、地域全体で花を育てる取り組みを行った。 ④ 参加者 計300名（行政区住民、幼稚園児・教諭、小学校児童・教諭、高校生徒・教諭）
事業成果	・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、地域全体で環境美化に取り組む意識が向上した。 ・幼稚園・小学校での丁寧な植栽指導により、子どもたちの情操教育に寄与した。 ・高校の育苗活動では発芽率90%以上を達成し、地域と学校の連携が強化された。 ・行政区では老人クラブと子ども会が協働し、世代間交流が深まった。

(6) 事業名 夏まつり事業

事業費	484,009 円
事業内容	◆夏まつり事業 ① 会場 中津山公民館 多目的ホール、東側駐車場、米山 B&G 海洋センター体育館アリーナ ② 日時 令和7年8月9日（土） 11:30～18:45 ③ 内容 なかつやマルシェ、子どもの広場、芸能コーナー、盆踊り、お楽しみ抽選会の5本柱で構成。盆踊り練習・事前準備を経て、当日は屋内外を活用し、幅広い世代が楽しめるイベントを実施。 ④ 参加者 スタッフ・関係者計103人（コミュニティ役員51名、中学生13名、大学生2名、地域ボランティア4名、芸能出演者23名、来賓3名、交通指導隊3名、事務局4名） 来場者約1,200人
事業成果	・マルシェ・芸能・盆踊り・子どもの広場など多様な催しにより、世代を超えた交流が活発に生まれた。 ・中学生・大学生・地域ボランティアとの協働により、大規模イベントを支える地域力が強化された。 ・SNS・ラジオ広報の効果で来場者が増加し、地域外からの参加も促進することができた。

(15) 事業名 なかつやまウィンターフェス

事業費	474,036 円
事業内容	◆『なかつやまいるみ』 ① 場所 中津山公民館屋外、玄関ホール内 ② 日時 令和7年12月1日(月)～25日(木) 点灯 午後4時～午後9時 ③ 内容 公民館玄関(屋外)にイルミネーションを設置。玄関ホール内に米山幼稚園の全園児と中津山小学校の全児童にペットボトルの装飾を依頼し、集まったペットボトルをクリスマスツリーの形に組立て展示。その他玄関ホール内にはステンドグラスをイメージした和風装飾を設置した。イルミネーションを通じて地域住民の和みと交流の場とすることが目的。 ④ 参加者 計174名(米山幼稚園園児・教諭、中津山小学校児童、地域ボランティア) ⑤ 見学者 多数 ◆『なかつやまコンサート』 ① 場所 中津山公民館多目的ホール ② 日時 令和7年12月7日(日) 午後1時30分 開会 ③ 内容 「和(なごみ)」をテーマに、地域に根ざした伝統音楽の魅力を伝えるコンサートを開催。和太鼓・オカリナ・尺八・三味線の4団体が出演し、司会者とトークを交えながら温かい雰囲気で行進。地域スタッフが音響・照明・受付などを担当し、スムーズな運営を実現した。 ④ 参加者 計99名(観客、出演者、スタッフ、音響担当、事務局)
事業成果	『なかつやまいるみ』 ・イルミネーションを通じて、地域住民が集い、和み、交流する冬の風物詩を創出した。 ・幼稚園・小学校との協働により、子どもたちが地域行事に参加する機会を拡大した。 ・ペットボトルツリー制作を通じて、世代を超えたつながりと創作活動の楽しさを共有することができた。 ・毎年バージョンアップを目指す取り組みとして、地域の継続的な冬イベントの基盤づくりに寄与した。 『なかつやまコンサート』 ・地域の伝統音楽を次世代へつなぐ機会となり、出演者・来場者ともに満足度の高い催しとなった。 ・出演団体の紹介や活動PRを行い、地域文化の継承と交流促進に寄与した。 ・2時間の構成がちょうどよく、落ち着いて鑑賞できる環境を提供することができた。

(16) 事業名 地域情報発信事業

事業費	300,736 円
事業内容	◆地域情報発信事業 ① 場所：中津山公民館事務室 ② 日程：令和7年4月～令和8年3月 ③ 内容：コミュニティだよりの発行、HP の入力（予定表・ブログ等）公式 LINE、Instagram の運営
事業成果	・コミュニティだよりは令和8年3月発行（一年間の地域づくり事業の総集編） ・公式 LINE 運営 ・Instagram の運営 ・登米市教育情報サイトの入力（予定表・ブログ） ・情報発信に必要な資材の購入

(6) 事業名 組織運営費

事業費	389,508 円
事業内容	1) 需用費（消耗品）：地域づくり事業を推進するにあたり事務用品を購入。コピー用紙、事務用品等、手持ち金庫、チラシ用アクリルスタンドなど。 2) 需用費（燃料費）：公用車ガソリン代。 3) 役務費：公用車タイヤ交換代、手数料。 4) 委託費：ハラスメント窓口委託費。 4) 備品購入費：プロジェクター本体一式。
事業成果	・消耗品等を購入することで地域づくり事業の円滑な推進が実施できた。 ・備品購入費プロジェクター本体一式を購入したことで様々な事業で活用することができた。